

十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (24)

帯広工業高等学校 環境土木科 3年生への防災に関する授業

- 日 時：平成30年11月12日(月) 12:30~15:20
 - 参加者：帯広工業高等学校 環境土木科3年生 38名(欠席2名)
帯広開発建設部治水課 濱中上席専門官
ラムピリカ 代表 笹村 律子氏
十勝川中流部市民協働会議 3名(和田、橋本、前田)
 - 場 所：帯広工業高等学校 実習棟2F パソコン室
 - 講義内容：(1) 水害リスクの把握と防災行動
(2) 十勝川中流部市民協働会議が運営する防災システムの使い方
(3) アイヌ民族とカムイについて
-



授業開始時の様子



挨拶する和田事務局員と濱中上席専門官



授業時の様子



講義 1. 災害リスクの把握と防災行動（帯広開発建設部治水課 濱中上席専門官）

濱中上席専門官からの講義の内容は、「水害リスクの意味」と年々そのリスクが高くなってきている状況を気象データ等の資料から説明して頂きました。また、リスクを把握するため洪水ハザードマップの存在やハザードマップの使い方等についても説明して頂きました。

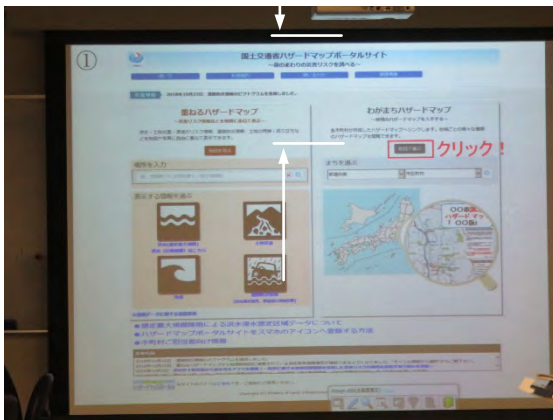


講師の濱中上席専門官



授業時の様子

また、国土交通省でインターネット公開しているハザードマップや浸水ナビや河川情報など、避難に必要な情報の入手方法などについても説明がありました。



国土交通省ハザードマップポータルサイトの紹介



浸水ナビの HP 紹介

講義 2. 十勝川中流部市民協働会議が運営している地域防災システムの使い方について

十勝川中流部市民協働会議で運営している地域防災システムの使い方について、前田事務局員からシステムの操作方法について説明がありました。

このシステムで判る情報（予想浸水深さ、避難経路、水位観測所の水位と雨量、水位観測所の監視カメラによる現在の川の様子、気象協会サイトによる雨雲の動きなど）について説明がありました。

最後に、平成28年度洪水の体験を踏まえて、生徒個人が感じた感想や気が付いたことについてアンケート調査を実施しました。



挨拶する十中協前田事務局員



地域防災システムを確認する生徒の様子



地域防災システムを操作する生徒の様子



アンケート調査用紙に記入する生徒の様子

講義 3. アイヌ民族とカムイ

自身が代表を務めるラムピリカの活動内容から始まり、1) 萱野茂さんとの出会い、2) 萱野れい子さんが教えてくれたこと、3) アイヌ民族とカムイについて、4) 制裁棒、5) 和人とアイヌの信仰心の違いなどについて講演して頂きました。



笹村律子さん紹介の様子



笹村律子さん挨拶時の様子



笹村さんによる講義の様子



講義を聞く生徒の様子

最後に生徒代表から、「1年生の時に行った札内川の測量から始まり、防災に対する備えや確かな情報の入手方法、アイヌ民族とカムイなど、貴重な体験が大きな収穫であった。」と挨拶がありました。



生徒代表による挨拶



終業時の様子